

2019年11月8日

各位

会社名 レイズネクスト株式会社
 代表者名 代表取締役社長 吉川善治
 (コード番号 6379 東証第1部)
 問合せ先 経営企画部長 小林 敬典
 (TEL045-758-1950)

配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年11月8日開催の取締役会において、2019年9月26日に公表した配当予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 修正の内容

(単位：円)

	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2019年9月26日)	—	32.00	32.00
今回修正予想	—	35.00	35.00
当期実績	0.00		
前期実績 (2019年3月期)	0.00	46.00	46.00

※ 注記事項

ご参考として2019年3月期の配当実績を記載しておりますが、本数値は経営統合前の新興プランテック株式会社の実績となっております。

2. 配当予想修正の理由

当社グループの事業は、石油・石油化学・非鉄金属等のプラント関連のメンテナンス事業およびエンジニアリング事業を基盤としており、民間設備投資の増減に影響され易い受注産業に属しております。事業の性格を踏まえ、経営環境の変化と今後の事業の展開に備えて企業体質の強化を図り、安定的な経営基盤を構築することが企業価値を増大させ、ひいては、株主、顧客、取引先、社員等の各関係者の将来的な利益を確保することに繋がるものであるということを基本方針としております。

基本方針のもと、株主に対する利益配当に関しましては、経営の最重要課題と位置づけ、収益に対応した配当施策を実施すべきものと考え、配当の継続性および安定性という面にも充分留意し、強固な事業基盤と将来の事業拡大に必要な内部留保を確保した上で、40%以上の配当性向(連結)を目標としております。

このような配当方針のもと、本日同時発表の「2020年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」および「2020年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、業績は順調に推移しておりますので、期末の配当予想を1株につき32円から3円増配した35円に修正いたします。

なお、配当予想につきましては、経営統合に係る損益である負ののれん発生益は除いて算出しております。また、連結配当性向につきましては以下のとおり算出しており、40.2%となります。

$$\text{連結配当性向} = \{ \text{配当金総額} \div \text{連結当期純利益予想 (負ののれん発生益を除く)} \} \times 100$$

以上